

西之表市馬毛島の米軍施設等移転に関する問題について

西之表市の馬毛島については、島のほとんどを民間の会社等が所有していますが、ここ数年、米軍関係施設の移転候補地として、新聞報道等がなされてきたところですが、今年に入ってからにわかに現実味を帯び、憂慮すべき状況になっています。

種子島につきましては、農林水産業中心の島であり、屋久島は世界自然遺産に登録された観光業が盛んな島です。米軍訓練施設の移転により、農林水産業や観光への影響は甚大であるとともに、騒音被害や不慮の事故等も懸念されることから、種子島・屋久島1市3町の首長及び議会は「**米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会**」を設立し、米軍関係施設の移転について断固反対の姿勢で、国や県等に対して、反対の要請活動を行っています。

米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会

【米軍施設等に関する馬毛島問題の経緯】

1

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
H18.05.01	日米両政府が「再編のための日米ロードマップ」に合意 ・普天間飛行場を日本に返還し代替施設をキャンプ・シュワブ周辺にH26までに建設する。 ・厚木基地の空母艦載機59機を岩国基地に移転する。		
H19.02.22	朝日新聞に陸上空母離着陸訓練施設（FCLP）候補地として馬毛島が浮上している記事が掲載される。	H19.03.10	馬毛島への米艦載機訓練移転反対決議（熊毛1市4町）
		H19.05.28	米軍空母艦載機離着陸訓練施設馬毛島問題対策協議会設立
		H19.10.23	防衛省に移転反対の要望書提出
H19.12.17	馬毛島開発社長 米軍機訓練誘致を表明（西之表市議会特別委員会において）		
H20.01.06	読売新聞に夜間離着陸訓練（NLP）場所に馬毛島が最有力の記事が掲載される。	H20.01.11	県知事に「米軍空母艦載機離着陸訓練施設の馬毛島移転反対要請書」を提出
		H20.09.02	防衛省に移転反対の要望書提出
		H21.05.14	「馬毛島に米軍の訓練基地を許さない住民の会」が住民4958人分を署名を添えた陳情書を県議会に提出。
H21.06.25	フロノイ米国防次官が増田好平事務次官との会談の中でロードマップの方針変更がないことを述べ、オバマ政権下での変更はないことが確認された。		

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
		H21.11.12	防衛省に「米軍空母艦載機離着陸訓練施設の馬毛島移転反対要請書」を提出
H21.12.05	南日本新聞に普天間移設候補に馬毛島浮上の記事が掲載される。	H21.12.09	市議会が「米軍普天間飛行場の馬毛島への移転に反対する決議」
		H21.12.09	防衛省に要望書提出
H21.12.11	普天間移設先としてキャンプシュワブ案が浮上し、徳之島、馬毛島などを訓練移転先としてセットで提示するとの報道がなされる。		
		H22.02.19	種子島屋久島振興協議会を開催し、断固反対を再確認。
H22.03.05	馬毛島開発社長、読売新聞の取材に対し、「政府から普天間飛行場移設を求められれば、積極的に受入れたい。」と述べる。		
H22.03.07	社民党議員（服部良一議員・辻元清美議員）が馬毛島視察。（日高滋議員が県議会企画建設委員会で明らかにする。）	H22.03.24	県議会が「普天間基地代替施設の県内移設反対」を決議
		H22.03.25	首相官邸に移設反対の申し入れ。（県知事・県議会議長・徳之島3町長・西之表市長）
		H22.03.25	自民党、社民党、民主党県連に反対要請書を提出
		H22.03.26	「馬毛島への米軍基地移転に反対する郡民集会」が市民会館で開催される。（馬毛島問題住民の会）
H22.04.14	北沢防衛相と峰崎財務副大臣が、参院本会議場で馬毛島の土地を国に売却すると読み取れる内容のメモを基にやりとりしたと報道される。		
		H22.04.30	「米軍空母艦載機離着陸訓練施設馬毛島問題対策協議会」（熊毛郡の首長・議長・県議で構成）の名称を「米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会」に変更

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
H22.05.25	政府は米軍普天間飛行場移設問題に関する日米の合意文書に、移設先として「名護市辺野古周辺」と明記するとともに、これを踏まえた対処方針を28日に正式発表する方針を固める。	H22.05.31	民主党・防衛省に要望活動（米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会）
H22.12.11	政府がFCLP施設を馬毛島に移転させる方向で本格的に検討に入り防衛大臣が早急な検討の指示を省内に行ったとの報道がなされる。	H22.12.20	民主党・防衛省に要望活動（米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会）
H23.05.16	政府がFCLP施設を馬毛島に移転させる方向で本格的に検討に入り防衛大臣が早急な検討の指示を省内に行ったとの報道がなされる。	H23.05.16	米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会において、断固反対の意思確認を行う。
H23.05.20	伊藤知事が定例記者会見で、「地元の意向を最大限尊重した対応をとる」と述べ、反対を表明している地元の種子島、屋久島の1市3町と足並みをそろえる考えを示した。伊藤知事は「地元が反対であれば、賛成する立場にはない。県が地元と逆の政策判断をすることはない」と説明。その上で「国が訓練適地を探しているのは確かだが、県に一切連絡がない以上、対応の取りようがない」と述べた。（5.21 南日本新聞報道）	H23.05.25	米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会で、鹿児島県に対し要望活動を行う。あわせて反対の意思表明のための記者発表を行う。
		H23.06.01	民主党・防衛省に要望活動（米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会）
H23.06.03	北沢防衛大臣が、アジア安全保障会議に参加、米ゲーツ国防長官と会談	H23.06.03	6/1の要請活動において断固反対の抗議を行ったにもかかわらず、防衛省側が馬毛島の施設整備について説明を行ったとするような対応をしていることに対し、地元としては説明を受けたつもりはないとして、防衛省へ抗議文を出す。
		H23.06.06	西之表市議会が「陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島への移転に反対する決議」を全会一致で採択

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
H23.06.08	防衛省が県知事に自衛隊施設整備等について説明（小川勝也防衛副大臣、中江公人防衛事務次官、井上源三地方協力局長）		
		H23.06.09	鹿児島県議会議長に対し、要望活動を行う。（米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会）
		H23.06.14	鹿児島市議会議長会が意見書を採択（地元意向の尊重・慎重な対応を求める。）
		H23.06.14	中種子町議会が移転に反対する決議を採択 屋久島町議会が移転に反対する決議を採択
		H23.06.15	南種子町議会が移転に反対する決議を採択 南大隅町議会が移転反対の意見書を採択
		H23.06.17	米軍関係施設等の馬毛島移転問題経過報告会を開催（西之表市）
H23.06.21	日米安全保障協議委員会（2プラス2）がワシントンで開催される。 以下共同文書。 「日本政府は、新たな自衛隊の施設のため、馬毛島が検討対象となる旨地元の説明することとしている。南西地域における防衛態勢の充実の観点から、同施設は、大規模災害を含む各種事態に対処する際の活動を支援するとともに、通常の訓練等のために使用され、併せて米軍の空母艦載機離発着訓練の恒久的な施設として使用されることになる。閣僚は、長年にわたる問題の解決は、同盟への極めて重要な前向きな貢献となると認識した。」	H23.06.21	種子島屋久島1市3町で、断固反対の懸垂幕等を庁舎等に設置する。
		H23.06.25	米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会開催、今後の対応協議（西之表市消防会館） ・防衛省への抗議活動を行う・・・・・・・・・・6/28 ・防衛省側の説明を聞く（地元において）・・・・7/2 ・広報を行う（共通の内容） ・署名活動の実施 ・集会の実施 以上確認した。
H23.06.28	北沢防衛大臣が会見で、所有者と交渉に入ったことを認める。	H23.06.28	防衛省に抗議活動（米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会） 県議会が「地元の意見書に反した馬毛島へのFCLP米軍基地建設に反対する意見書」を全体一致で可決。

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
H23.07.02	西之表市役所にて、小川防衛副大臣、中江公人事務次官、井上源三地方協力局長等が馬毛島への基地移転について説明を行う。	H23.07.02	防衛省側の説明を受け、「断固拒否」とあらためて反対の意向を防衛省側に伝える。(米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会)
H23.07.07	日本共産党(まつざき真琴鹿児島県議、野口寛西之表市議、赤嶺政賢衆議院議員)が防衛省へ要請活動。	H23.07.07	馬毛島への米軍訓練基地化を許さない住民の会及び馬毛島の自然を守る会主催による馬毛島問題学習講演会を開催。協議会による反対署名を開始する。
H23.07.09	民主党鹿児島県連が馬毛島へのFCLP移転に反対する意見書を岡田克也幹事長あてに提出		
H23.07.12	防衛省が南大隅町を訪問し馬毛島への計画内容を説明。	H23.07.13	中種子町中央公民館において、各種代表者へ説明会を開催。
		H23.07.17	住民説明会(増田小学校体育館)
		H23.07.19	住民説明会(浜津脇漁民センター)
		H23.07.20	住民説明会(中央公民館)
		H23.07.22	住民説明会(納官小学校体育館)
H23.07.25	県知事と県議会議長が防衛省へ抗議活動。防衛副大臣と面会し「地元へ十分な説明がないまま日米の共同文書に馬毛島が移転検討対象として明記されたことに抗議する」内容の抗議文書を提出。		
H23.07.28	「鹿児島に米軍はいらない県民の会(荒川譲会長)」が九州防衛局に移転計画の白紙撤廃について申し入れを行う。	H23.07.29	西之表市議会において馬毛島への自衛隊施設設置の推進を求める陳情について不採択。
		H23.08.01	住民説明会(油久小学校体育館)

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
		H23.08.02	住民説明会（岩岡小学校体育館）
		H23.08.03	住民説明会（南界小学校体育館）
H23.08.04	県町村会（県内24町村で構成／会長：平安正盛知名町長）馬毛島へのFCLP移転計画について反対する地元の移行を指示する決議を全会一致で可決。		
		H23.08.09	防衛省（地方協力局移設設備室長）が種子島漁協に対し、非公開で移転計画について説明を行う。
H23.08.12	県議会の民主・社民党会派の県民連合（二牟礼正博代表7人）が馬毛鹿（馬毛島固有亜種：県レッドデータブックの絶滅危惧種に指定）を県の指定希少野生動植物に選定し、併せて生息保護区設定のための調査を早急に行うよう県に申し入れる。	H23.08.11	馬毛島への米軍施設に反対する市民団体連絡会が主催で馬毛島問題学習講演会を開催。12日に中種子町コリーナでも開催。
H23.08.30	北沢防衛大臣が閣議後会見で、在日米軍再編をめぐる諸課題に取り組む体制を強化するため、省内に専門チームを設置。「馬毛島は南西諸島に展開していく自衛隊配備の拠点。そこでの訓練が重要」と述べ、「災害時の無人機やロボットの訓練拠点になる可能性が高い。」との見方も示し、退任。同日、野田佳彦氏が第95代内閣総理大臣に指名される。		
H23.09.01	馬毛島で行っている工事が、自然や漁業を破壊し森林法などに違反しているとして、市の住民らが国と県、島の大半を所有する民間会社に、工事差し止めなどを求める訴訟を、鹿児島地裁に起こす。		
H23.09.02	野田内閣発足。防衛大臣に一川保夫氏。伊藤祐一郎鹿児島県知事は、定例記者会見にて、馬毛島の現地調査を年内にも実施したい意向を示す。		

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
H23.09.05	一川防衛大臣が大臣会見により、馬毛島について「(地域に)誠心誠意粘り強い、交渉が必要である。」と述べた	H23.09.05	米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会を開催。署名が6万件以上、県・国への要請活動、現地調査や集会等について確認がされる。
H23.09.13	九州防衛局の職員が南大隅町の議員に対しての説明により、F A 1 8スーパーホーネットを使った試験飛行の実施に向け、米側と調整に入ったことが報道される。		
H23.09.15	鹿児島県が島の大半を所有する民間会社に対して、開発状況等を現地調査することを文書にて通知。9月末までの回答を求める。		
H23.09.19	政府が最大50億円とする用地買収額を島の大半を所有する民間会社に提示していたことが報道される。	H23.09.22	西之表市議会が、定例会本会議で、同市・馬毛島への米軍艦載機の陸上空母離着陸訓練(FCLP)移転について市と防衛省が同席する住民説明会開催を求める陳情を不採択。
H23.09.30	馬毛島の大半を所有する民間会社より、県の現地調査の要請に対して、砂利採取法と採石法に基づく調査のみ認め、滑走路開発やマゲシカの調査は拒否する回答書が県に送付。		
H23.10.12	前防衛大臣の北沢俊美氏が、沖縄の民主党県連幹部との会談の中で、馬毛島への施設移が実現した場合には「当然、沖縄の負担軽減にもつながるような利用もされる」と述べたと報道される。		
H23.10.14	一川保夫防衛相は、14日の記者会見で12日の北沢防衛相の沖縄での発言について、「FCLP以外で米軍の使用は全然検討していない。馬毛島移転は円滑に進行している状況ではなく、慎重に対応すべきだ」と不快感を示す。	H23.10.14	協議会は、伊藤祐一郎鹿児島県知事に対して、反対署名の状況報告及び今後の活動について報告。署名については、地元住民の過半数を超えている54.4%と報告。伊藤知事も「地元の意志としては重い」と発言。
H23.10.17	馬毛島の大半を所有する民間会社が県による現地調査を拒否したことについて、県は17日に11月10日~25日の間に全ての調査に応じることができる4日間を選び、10月末までに回答するよう慎重に対応すべきだ」と不快感を示す。	H23.10.19	協議会が厚木基地の現地調査を行う。

出 来 事 等		地 元 1 市 3 町 の 動 き	
		H23.10.20	協議会において要請活動。 協議会が要請活動を行う。 ・ 民主党陳情要請対応本部 筆頭副本部長 鈴木克昌（民主党副筆頭幹事長） 副本部長 石関貴史（民主党副本部長） ・ 文部科学省 城井崇 大臣政務官 ・ 外務省 加藤敏幸 大臣政務官 ・ 防衛省 神風英男 大臣政務官 防衛省にて、7万72名分の署名を提出する。
H23.11.21	鹿児島県知事及び県議会議長が一川防衛大臣と会談し、米軍の陸上空母離着陸訓練（FCLP）を馬毛島へ移転する計画を断念するよう要請を行う。		
H23.11.22	一川保夫防衛大臣が閣議後の記者会見で、米軍の陸上空母離着陸訓練（FCLP）を馬毛島に移転する計画の関連経費を2012年度予算に計上する考えを示す。		
		H23.11.30	一川防衛大臣の予算計上に関する発言を受け、防衛省 渡辺周副大臣に抗議活動を行う。（協議会）
H23.12.22	九州防衛局が県及び熊毛の事務担当者にして、2012年度予算の考え方について説明を行う。協議会は、即日、抗議文を出す。		
H23.12.24	米軍空母艦載機陸上離着陸訓練（FCLP）の西之表市馬毛島への移転調査費が2012年度予算案に計上される。（総額 225百万円）		
H24.2.3	開発行為及び採石についての取消のための県の聴聞会が県庁において開催される。		

		H24.2.24	協議会総会をホテルニュー福丸で開催。大臣への要請活動や広域会議の開催、副会長の1名増員などを決めた。
		H24.4.25	協議会総会を西之表市役所で開催。平成23年度決算及び平成24年度予算、協議会規約の改正について協議。併せて、各自治体の採択状況や署名状況について報告がなされた。
H24.5.2	南日本新聞が鹿児島県民を対象に実施した電話世論調査で、米軍空母艦載機の陸上離着陸訓練（FCLP）の西之表市馬毛島への移転について「反対」が29.7%に上り、「どちらかといえば反対」の23%を合わせると過半数が反対の意思を表した。理由では騒音や事故を懸念する声が多かった。調査は4月13～15日に実施、1006人が回答した。		
H24.5.12	西日本・毎日新聞がFCLP移転問題で、防衛省と米軍が近く馬毛島を現地視察する方向で所有者側と調整していることが12日、分かったと報じた。視察は40～50人規模になる見込み。地元は移転に反対しているが、防衛省側は既成事実を積み重ねる第一歩にしたい考えとみられると報じた。		
H24.5.15	鹿児島県は15日、米軍空母艦載機の陸上空母離着陸訓練（FCLP）の移転候補地である馬毛島（西之表市）で、東京の開発会社「タストーンエアポート」が森林法に違反する伐採工事をした疑いがあるなどとして、現地調査を実施した。		
H24.5.16	在日米海軍は16日、防衛省が鹿児島県・馬毛島への移転を検討している空母艦載機の陸上空母離着陸訓練（FCLP）を東京都・硫黄島で報道公開した。在日米海軍司令部の出ニス・ミケスカ大佐は硫黄島に立地条件について「トラブルがあった際に緊急に着陸できる場所が周辺にない。安全基準を満たす最適な場所を見つけることが必要だ」と強調した。		

		H24.5.31	H23.10.20 以降に集まった署名を防衛大臣に提出するとともに、反対の要請活動を行う。 【提出署名数 147,345 総計 217,417 名】 ・民主党陳情要請対策本部 副本部長 徳永久志参議院議員（民主党副幹事長） 副本部長 行田邦子参議院議員（民主党副幹事長） ・防衛省 神風英男防衛大臣政務官
H24.8.28	森林伐採が進み、10年前と比べて個体数がほぼ半減しているため、環境省は「馬毛島のニホンジカ」（マゲシカ）を、改正版のレッドリストで「絶滅のおそれがある地域個体群」に選定。		
H24.9.8	2103年度政府予算概算要求で、米軍空母艦載機の陸上離着陸訓練（FCLP）の関連経費を盛り込む。		
H24.9.26	防衛省地方協力課長をはじめとする防衛省職員が馬毛島の現地視察。	H24.9.27	防衛省職員が地元自治体へ連絡もなく現地視察を行ったことに対する抗議文を防衛省へ郵送。
		H24.10.12	協議会は、防衛省を訪れ、長島昭久防衛副大臣に対して、2,056件の署名と9/26防衛省職員の現地視察及び本年度の概算要求に対する要請活動を行う。
H24.11.15	鹿児島県が5月15日の現地調査では、違法伐採について十分な裏付けができなかったとして、2回目の現地調査を実施。		
		H24.12.21	中種子町議会において、公正中立な立場で関係機関に十分な説明を受けるためとして、米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会からの離脱を求める議決を可決した。